

屋久島生態系モニタリング

愛子岳植生垂直分布調査 (平成18年度調査)

・愛子岳斜面(標高200m地点)

プロットは、愛子岳登山道入口から、登山道を50メートル登った地点である。傾斜の緩やかな北西斜面で、起点からセンターライン方位は、S50°Wで、平均傾斜は、24°。

プロットの階層別植生は、高木層では優先種は、スグシイである。他は、ナツメノキ・トクワガキ・マテバシイ等が多く出現する。その下層には、タインチバナが多く(カキ・カクレミノ・ヤマビロ・イヌノキ・ヤブツバキなどが出現するが、個体数は少ない。植被率は95%と高い。スグシイには時にオハヤドリギが寄生する。

亜高木層では、個体数の多い樹種は、イヌノキ・イヌガシ・マテバシイ・ヒサカキ・タインチバナ・ヤブツバキなどである。他は、オコノギ・ヒメスリハ・サクラツツジ・ナキ・フカキ・モッコク・モクダチバナが生育し、ナツメノキ・ホソバダブ・タブノキ・サカキ・ミズバネなども出現する植被率は30%と低い。

低木層では、イヌガシ・イヌノキ・タインチバナ・ヤブツバキの個体数が多い。他は、アデク・カクレミノ・サクラツツジ・タシロリノキ・ハリハリノキ・マテバシイ・ミズバネ・モクダチバナ・ヤブツバキ等が出現し、トクワガキ・シヤンボウ・シロダモ・ナツメノキなども生育する。前回見られたイヌワリが今回消滅している。

草本層では、イヌガシ・ヤブツバキ・イヌノキ・タインチバナ等の稚樹が多い。アデク・ウラボシ・カシ・スグシイ・ナツメノキ等の高木や亜高木性樹種の稚樹が生育するが、高木層に出現しない稚樹も生育している。低木や草本も多く植被率は、高い。タシロリノキの多いのが特徴。

第一平 成二一 年六 月二 八日、 第一 回屋 久島 世界 遺産 管理 体制の 構築に 向けて、 局、九 州地 方環 境事 務所、 鹿兒 島県 鹿兒 島市 屋久 島町 にお いて、 委員 会及 び屋 久島 町に 関係 する 関係 機関、 産同 業科 学委 員会、 自然 環境 記録 保存 委員 会、 然環 境を 把握 し、 必要 な基 礎的 な研 究を 実施 し、 目的 を達 せし める こと を期 する。 成目 的は、 屋久 島の 生態 系を 調査 し、 現状 を把握 し、 必要 な基 礎的 な研 究を 実施 し、 目的 を達 せし める こと を期 する。



科学委員会の様子

第一回屋久島世界遺産 地域科学委員会の開催

「順応的保全管理体制の構築に向けて」

九州大学等による屋久島の生態系モニタリング調査の報告と、屋久島の自然環境の保全と観光の持続的発展に関する議論が行われた。

研究フォーラムの開催

屋久島の自然環境の保全と観光の持続的発展に関する議論が行われた。委員による西部地域現地視察も行われた。



参加者多数盛況のパネディスカッション



委員による西部地域現地視察

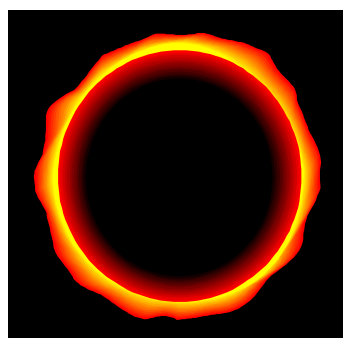
屋久島の植物



イワガラミ (ゆきのした科)

い、議論を深めていくこととなります。

意義の相互をトナ外やシマてて民理状にさ「求
 なる携創の研だ織にどへ観ヨた欲世の方認、れるめ
 議のの出情究。り加を発光ン、し界み策識価るめ
 論、必、報と後交えパ信客では、パ。い。誇ん言確造研究屋久島、期
 と双要住交し半ぜ参ネす感、ネルと結久島、期
 な方に民換てはな加りべき、学術的価値な力だ。し
 りににとが、期が者スきもる術的価値な力だ。し
 まとま研で研待らからのコと値な力だ。し
 してで究き究さ議らのコと値な力だ。し
 たて議者る者れ論のこ、意メ方、価
 。有論と機がるが意メ方、価
 意のの会相調進見法島値



「皆既日食」裏面へ

きが装咲じるをがる
 花。片花の期花し布るつ北
 期は六、七月。一枚の間に同ツ岩南落から九州に
 のよやうな場所、屋久島
 でうすな場との気分
 区ない場所、屋久島
 別白が所との気分
 で、に同ぼ根島す

皆既日食

来る7月22日に、屋久島では今世紀最大の継続時間となる「皆既日食」が見られることから、その前後の期間、多数の来島者や山岳部への登山者が予想されています。

このため、屋久島町では「皆既日食屋久島町対策協議会」を設置し、その対策に当たってきたところです。その中で、山岳部における登山者への注意喚起としてチラシ等を作成し広く呼びかけを行うこととしています。

当日の山岳部への登山者の見込みは未知数ですが、森林管理署・森林環境保全センターとしても例年行っている夏休み期間中の森林パトロール計画を行うこととしており、山岳部での安全対策に取り組みます。

皆既日食時の山岳部への登山注意

7月22日の皆既日食時には多くの方が登山されることが予想されています。宮之浦岳などの奥岳山頂は岩場が多く、限られた人数でしか留まることは出来ません。登山には御注意ください。

※山岳部では宿泊施設はなく、避難小屋も少人数しか入れません。

また、キャンプ・野営場はありませんので重ねて御注意ください。



縄文杉展望デッキでは宿泊できません。マナーをお守りください。
(写真は昨年の焦げ後発見時)
生態系保護地域や国立公園特別保護地区での焚き火は禁止されています。
御注意を！

縄文杉荒川線 車両乗入れ規制にご協力ください

山岳部への過剰な車両の乗入れによる環境負荷の軽減と混雑緩和のため、荒川線への乗入れが終日規制されます。マイカー・レンタカー・二輪車・自転車を利用される方は、屋久杉自然館前の駐車場に止め、専用バスをご利用下さい。なお、路線バス利用の方も、専用バスへの乗り換えをお願いします。貸切バス・タクシーは通行できますが、これらを利用される方は縄文杉荒川線保全チケットをご購入ください。

※徒歩での通行は、安全のためご遠慮下さい。
※これらの券代には車両乗入れ規制全般の運用、縄文杉荒川線バス駐車場と駐車場トイレの適正な管理や整備等の費用が含まれています。

【規制期間】 夏期～秋期 平成21年7月18日(土)～9月22日(火)〈67日間〉

【規制時間】 終日(荒川三叉路にてゲート設置) 【規制区間】 町道荒川線入口(荒川三叉路)～荒川登山口